



はなみずき

成生小学校 学校だより
令和7年9月29日 No.8
校長 渡 邊 隆

それぞれのめあてに挑戦

9月10日(水)に、2学期のめあて発表朝会を行いました。今回は、代表として1年生の佐藤真菜さんと5年生の押野瑞起さん二人の発表でした。真菜さんは、進んで勉強すること、わからないことを友達などに聞いてわかるようにすること、あいさつをいっぱい頑張ることの3つについて、瑞起さんは、学習でわからないところを自分で考えて解決していくこと、生活の中で親孝行のために手伝いを頑張ること、そして、5年生として廊下を走らないなどのルールやマナーを守っていくこと、の2つについて話してくれました。また、校長講話として、めあてについて改めて考えてもらい、めあては自分の責任で、自分で決めて行うもの。2学期は長い学期となるので、難しいけれど達成できそうな、ちょっとレベルの高いめあてに挑戦していこうと伝えました。今後、それぞれの学年で、教室の中や廊下にめあてを掲示していくと思われます。めあて達成のための学びづくりに取り組んでいきます。

2学期がんばりたいこと

5年 押野 瑞起

ぼくが、2学期にがんばりたいことは、2つあります。1つ目は、学習についてです。分からない時は、先生や友達に聞くことができますが、まずは自分で考えるようにしたいです。そのために、すぐに答えを見るのではなく、自分で答えを出してから答え合わせをするようにしたいです。

2つ目は、生活についてです。親こうこうをし、友達を助け、笑顔をふやしたいです。そのために、あいさつやふわふわ言葉を自分から積極的にしていきたいです。また、家庭では、手伝いをしたり、「これはぼくがやるよ」などと声をかけたりして、家族の一員として仕事をしていきたいです。最後に、5年生として、ろうかを走らないなどのルールやマナーを守って生活をしていきたいです。



2がっきのめあて

1年 さとう まな

わたしのめあては、3つあります。1つめは、「すすんでべんきょうやうんどうをするぞ」です。とくに、かんじのべんきょうがたのしみです。

2つめは、「わからないことがあったら、おともだちやせんせい、おうちのひとにきくぞ」です。

3つめは、「あいさつをいっぱいするぞ」です。2がっきは、1がっきよりたくさんのおひとにあいさつします。これでおわりです。



9月19日(金)に通報のあった、本校大町地区のクマ出没事案への対応についてですが、9月22日(月)より、天童市警察署及び西部交番の方々、松田猟友会会長はじめ猟友会の方々、国井防犯協会会長はじめ地区の見守り隊の方々、仲野交通安全協会会長はじめ交通安全指導員の方々、天童市農林課の方々、そして保護者及びご家族の方々のご協力により、子供たちが安心して登下校することができております。ありがとうございます。また、保護者の送迎等のため、子供が通らなくなった箇所なども引き続き見守りいただき、改めて感謝申し上げます。これまでのところ、農林課及び猟友会からの情報では、花火によるクマ追払い実施後、クマの痕跡が見当たらないため、箱罟等の設置に至っていないとのことです。本校においては、今後も引き続き、校門での立哨、車での見回りなどを実施してまいりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

5年生宿泊体験学習

あいにくの雨模様となりましたが、9月25日

(木)と26日(金)の2日間に、5年生の宿泊体験学習が行われました。今回の学習のねらいは、子供たちが立てた目標を自分たちでしっかり達成できるかどうかです。日頃、学期ごとや活動ごとに目標(めあて)を立てて、取り組んでいます。今回は自然(天候に左右されやすい)や仲間(宿泊を伴うのでいつも友達とは違う)とどう折り合いをつけて、課題を解決していくか試されます。それぞれの班が協力して活動していかないと、御飯が食べられなかったり、睡眠が取れなくなったりします。お互いのことを考え、どうしたら全員が納得して活動を行い続けることができるか、一生懸命に取り組む子供たちの姿がありました。今後は、高学年としての自覚をより一層高め、学校での役割もたくさん担っていくことになります。たくましく育った5年生のこれからの取り組みが楽しみです。



152周年創立記念式

9月19日(金)は、成生小学校の創立記念式の日です。例年、全校生で創立記念式の歌を歌うので、前の週の全校音楽朝会でも練習を行いました。特に6年生の歌声が響き、盛り上がる式になるだろうと感じていました。当日も、子供たちの元気な歌声で創立を祝うことができ、とてもうれしく思ったところです。式典の中の講話では、希望の森そばの「大ケヤキ」が掲載された新聞記事を紹介しながら、これからも受け継ぎ、つないでいきたいことについて、子供たちと一緒に考える内容としました。学校に通う子供たちは変わっても、成生小学校を大切にしていきたいという気持ちは変わりません。次を担う子供たちが、何をつないで、何を新たにしていきたいのか、挑戦していく姿に期待していきたいと思います。



人権啓発運動

9月18日(木)に、山形地方法務局井上課長と、天童市人権擁護団

体の方々が来校し、成生小6年生の代表児童、清野壱智さん、清野秀久さん、村山天音さん、押野瑛太さん、高橋勇翔さんの5名とともに昇降口であいさつ運動に取り組みました。その後、子供たちへ一日人権委員の委嘱状が渡され、清野壱智さんから今後取り組んでいきたいことも含めて決意を伝えました。代表の村松さんからは、朝の挨拶がとてもすがすがしくよかったこと、そして、これまで成生小で培ってきた伝統の挨拶が生きることについて、感心しましたとのお話をいただきました。これからも、全校で人権意識を高めて、学校生活を送っていきます。

